

2010年9月3日

報道関係各位

中部学院大学  
中部学院大学短期大学部

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」

## 幼児教育学科「学生支援」に引き続き「教育推進」でも採択

中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）幼児教育学科は、文部科学省が本年度に実施する「大学教育・学生支援推進事業」における「大学教育推進プログラム」で、『“あそびすと”から“あそびスター”へ』五感で感じるあそびの価値を広げる保育者養成プログラムの取り組みが採択されました。幼児教育学科が採択された大学教育推進プログラムには、全国から298件（大学231件、短期大学34件、高等専門学校33件）の応募があり、書類審査とヒアリングを経て選ばれたのは30件（大学23件、短大4件、高専3件）。全国で実績を挙げている大学などがエントリーする中、狭き門をくぐり抜け、中部地区の短期大学では唯一選ばれました。また、本学が同事業で採択を受けるのは、昨年、「学生支援プログラム」で2件が採択されたのに引き続きの快挙で、3例目となりました。

記

### 【本学の大学教育・学生支援推進事業の採択】

この事業は「大学教育推進プログラム」「学生支援推進プログラム」などがあり、前者は学士力の確保や教育力向上のための優れた取り組みが対象。後者は就業支援への取り組みが対象です。

本学は昨年度、学生支援推進プログラムにおいて、大学と短期大学部でダブル採択を受けました。大学は「進路決定率100%・進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立」（平成23年度まで）に取り組み、就職支援に力を注いでいます。短期大学部は幼児教育学科が「学生シーズと現場ニーズのマッチングによる個別的キャリア支援」（今年度まで）が採択されました。学生が培った保育・幼児教育、児童福祉に関する力量や能力（シーズ）と、保育所・幼稚園・児童福祉施設が求める人材像（ニーズ）を個別にマッチング。両者の満足度向上を図り、早期離職者の防止を目指しています。

【採択されたテーマ】

「“あそびすと” から “あそびスター” へ」

五感で感じるあそびの価値を広げる保育者養成プログラム

■ 取組学部 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科（担当者：鈴木恒一 准教授）

■ 取組期間 2010（平成 22）年度～2012（同 24）年度

■ 取組概要 別紙（Paulownia vol.14）参照

■ 経 緯 本学幼児教育学科の流れ

[2009 年] 学生支援推進プログラム

7 月 7 日（火） 学生支援推進プログラム採択（平成 21 年度～22 年度）

[2010 年] 大学教育推進プログラム

4 月 1 2 日（月） 文部科学省より募集告知

4 月 2 3 日（金） 説明会参加（同月 2 7 日も参加）

5 月 6 日（木） 申請受付開始（1 7 日まで）

7 月 2 7 日（火） ヒアリング（書類審査で選抜された大学・短大・高専）

8 月 3 1 日（火） 採択決定公表

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科（担当：鈴木 准教授） TEL:0575-24-2211（代表）